

見直しの概要

- 次期生物多様性国家戦略(R5.3策定予定)の趣旨を踏まえつつ、静岡県の新ビジョン後期アクションプラン(R4.3策定)や静岡県環境基本計画(R4.3策定)等と整合
- 生物多様性に関する地域の実態や取組などを踏まえた見直しとなるよう、各基本方向に関連する団体から意見聴取を実施し、その内容を戦略に反映
- 生物多様性の保全と持続可能な利用のためには、生物多様性への意識・関心を高め、実際に生物多様性の保全・利用に向けて行動するライフスタイルへの転換を導くことが重要であることから、消費生活や事業活動における生物多様性への配慮に関する取組を重点的に記載
- 南アルプスの環境保全や浜名湖の外来生物など新たな対策に関する取組の充実化

<主な見直し内容>

区分	現状・課題	行政の取組として追加する内容
次期生物多様性国家戦略との整合	資料2「次期生物多様性国家戦略(素案)のポイントとぶじのくに生物多様性地域戦略への反映」を参照	
基本方向 1 関係団体ヒアリングの意見反映	ニホンジカの食害が甚大であり、ICT等の新技術を活用した捕獲促進が必要	ドローンや捕獲情報アプリ等のICTを活用した効率的な捕獲を促進します。
	外来生物の徹底的な駆除が必要	ヒアリ、アカカミアリ等特定外来生物が確認された場合には、速やかに防除を実施します。
基本方向 2 消費活動や事業活動における生物多様性への配慮に関する取組の重点化	世界の食品ロスの発生量は食料援助量を大きく上回り、食品ロス削減は国際的な課題	食品ロスの削減などの普及啓発や、賞味期限等に対する正しい理解など消費者教育等を通じて意識改革を促し、環境に配慮した消費行動がとれる消費者の育成を図ります。
	プラスチックごみの増加に伴う海洋汚染や生態系への影響が世界的な問題	プラスチックごみ等が海に与える影響を軽減するため、県民一人ひとりの実践の呼びかけや、森・川・海等での清掃活動への助成を実施します。
	県民のエシカル消費に対する意識は着実に高まりつつあるが、さらに県民意識を高め、行動変容を促すことが必要	人が幸せになるエシカル消費を推進するため、様々な消費行動や取組について、啓発サイト「プラス・エシカル」をはじめとする多様な広報ツールを活用した情報提供や、消費者・事業者双方に向けた普及啓発を行います。
	ESG金融が国内外で拡大	SDGsの考え方を踏まえた企業の取組事例やESGに関する金融機関の取組を紹介するセミナーの開催等により、生物多様性を含むESG金融の活用を促進します。
基本方向 3 基本方向 4 南アルプスの環境保全の充実	南アルプスの希少種の保護に向け、絶滅危惧種の調査や条例指定種の追加が必要	南アルプスにおける絶滅危惧種の調査を実施し、希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物に指定し、保護・回復を図ります。
	世界に誇れる豊かな生物多様性の魅力と保全の重要性に対する県民認知度・理解度を高めていくことが必要	南アルプスの自然環境をより良い形で未来につないでいくため、科学的知見に基づき環境保全を進めながら利活用を促進する仕組みである「南アルプスモデル」の構築を通じその方策の検討や、SNSを活用し、南アルプスの持つ場の魅力や情報を広く国内外に発信します。
基本方向 3 基本方向 4 浜名湖の外来生物対策の充実	外来植物の分布拡大により、在来植物や地域固有の生態系を破壊するおそれがあるため、外来植物の除去対策が必要	浜名湖の外来植物の分布拡大防止に必要な情報を得るため、植物の生育状況・分布状況の調査を行います。
		浜名湖における継続的な環境保全活動につながるよう、企業や学校等の参加を促すなど、民間団体等の取組を支援します。